



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2012年2月号

「主題」

- 国際会長 : 「とにかくやろうー成せばなる」
 アジア地域会長 : 「とにかくやろうー成せばなる」
 西日本区理事 : 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
 中部部長 : 「まず一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」
 プラザクラブ会長 : 「ワイズなワイズになろう」

【TOF・CS・FF=メンバー全てがTOF・CS・FF 資金のシステム、意義、活用方法を充分学習することにより資金の効果的活用を図り、ワイズ活動を活性化しましょう。】

2月例会および今後の予定案内

【2月第1例会】

日時：2月9日(木)・18:30-

場所：名古屋YMCA会議室

内容：①卓話「ワイズについて」/講師・島崎正剛

②懇親会

時間：19:40-

場所・魚甚 TEL.052-979-5700

名古屋市東区葵1-17-22(YMCAから歩いて10分)

◆集合時間が通常より15分早いのでご注意ください!

【2月第2例会】

日時：2月23日(木)・18:45-

場所：名古屋YMCA会議室

内容：次月例会打ち合わせ

出席義務者：役員(大島・榎田・後藤)

3月担当者(小澤・榎田)

4月担当者(榎田・後藤)

【今後の予定】

1. 3月第1例会

日時：3月8日(木)・18:45

場所：名古屋YMCA会議室

2. ワイワイフォーラム

日時：3月20日(火・祝)・15:00-18:00

場所：名古屋YMCA 3F会議室

3. 3月第2例会

日時：3月22日(木)・18:45-

場所：名古屋YMCA会議室

4. 第15回西日本区大会

日時：6月9日(土)-10日(日)

場所：滋賀県立文化産業交流会館

1月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者				
		1	2	①	②	③
会長	大島 孝三郎	○	○			
	小澤 幸男		○			
書記	榎田 守隆	○	○			
会計	後藤 猛	○				
直前会長	島崎 正剛	○	○			
	鈴木 誉三	○	○			
副会長	高田 廣	○				
	常盤 眞理子	○				
連絡主事	万福寺 昭美	○	○			
課外活動	①	-----				
	②	-----				
	③	-----				
	④	-----				
	⑤	-----				
出席率・%					100.0	
1. ニコボックス						
2. オークション						
当月合計/累計					5500	
3月号ブリテンの寄稿者は大島さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール moritaka_kushida@ybb.ne.jp						
4月号・後藤/5月号・常盤/6月号・万福寺						

TOF=Time of Fast(断食のとき) CS=Community Service(地域奉仕) FF=Family Fast(家庭での断食)

1 月第 1 例会報告

日時：1 月 12 日(木)・18:45-20:45

場所：名古屋 YMCA 会議室

1. 報告会：「被災地の子どもたちと」

講師：田中 大雄(ひろまさ)

講師の田中君は、昨年 9 月 16 日から 20 日まで神戸・栃木・仙台 YMCA のリーダーたちと一緒に、南三陸町の小学校 3・4 年生を招きキャンプ活動をした様子を報告する。詳細は、彼から寄稿いただいた別記「南三陸町の子どもたちと遊ぶ」をご覧ください。

2. 報告事項

(1) 西日本区大会第 3 回実行委員会報告

日時：2013 年 6 月 22 日(土)・23 日(日)

場所：会議・名古屋能楽堂

懇親会・ウェスティンナゴヤキャッスル

会費：18,000 円/人

以上は予定です

(2) クラブ 25 周年例会開催の是非

他クラブの 5 年単位の創立記念例会開催はまちまち、メンバーの総意により 25 周年行事は見送る

(3) 大震災復興支援金の要請

1000 円/人、会計から本部に送金する

3. ブリテン原稿依頼・榎田

1 月はワイズ、クラブ、YMCA の行事・会議はないため、メンバー分担の報告原稿の依頼はない



(田中君、プロジェクターを使って訥々と説明する)



(津波が山際まで押し寄せ、海水に浸った杉が枯れ始めた)



(土台が削られた3階建てのビル傾く)

南三陸町の子どもたちと遊ぶ

仙台 YMCA ボランティア支援センターは、東日本大震災で被災した南三陸町の児童たちとのキャンプ活動を 9 月 17 日から 19 日まで行った。名古屋 YMCA から 4 人のほか、仙台・神戸・栃木 YMCA を含む 10 人のリーダーが駆けつけ、招待された子どもたち 37 人とともに 3 日間を楽しく過ごしました。

キャンプに行く前はわからないことだらけでした。現地の子供たちと何を話せばいいのか、どう接すればいいのかなど全くイメージが湧かず、みんなで話し合い、それぞれの考えを抱きながら現地へ向かった。

新幹線で現地へ行く途中、時々外の様子を気にしたり、これからのキャンプでの話をしたりして時間を過ごす。仙台駅に着いて仙台 YMCA までの商店街には、応援メッセージを書いた横断幕が掛けてあったりして印象的でした。

仙台 YMCA に着くと、物資と歌幕や応援メッセージが書かれたものが溢れていました。収まりきれない物資は、階段や廊下を埋め尽くしている。中には知っているリーダーの被災地への応援メッセージを見ることができて、人と人のつながりを感じました。神戸 YMCA のリーダーと合流してからは、これからのキャンプについて、みんなで時間を忘れるくらい真剣に話し合っ

た。初日はみんなでドキドキしながら子どもをピックアップして、宿泊する施設へと向いました。高松さんの車に乗ったリーダーたちは、高松さんの話を聞きながら被害状況を見て、いろいろ考えていたようです。バス組は子どもたちと思いっきり歌ったり、話をしながら過ごしました。

施設に着いてからは、グループタイムや手遊び、歌を歌うなどして遊び、夕ご飯のあとにはゲーム大会をして、お風呂に入った後も全力で楽しみました。ゲーム大会では、物資を物資としてただ配るのではなく、ゲームの賞品という形で子どもたちに手渡しました。

夜は震災の影響で寝るのが怖く、なかなか寝付けな

い子もいたました。夜のミーティング中にもほぼ毎日

余震があり、不安を感じながらみんなで真剣にたくさん
の話を話しあった。

2日目は、そば打ちやソーセージ作りなど、初体験
の子どもが多いプログラムでしたが、それぞれ楽しみ
ながら真剣に活動することができました。施設へ帰っ
ての芝滑りでは、子どもたちもリーダーも笑顔で楽し
んでいました。段ボールやブルーシートをお尻に敷い
たり、段ボールを靴に付けてショートスキーのように
して芝を滑る練習をしたり、それぞれ本当にいい顔を
していました。

2日目の夜はキャンプファイヤーをしましたが、初
めての子どもたちの中には、震災後の焚き火などを思
い出して怖がる子もいました。それでもみんなで一つ
の場所でそれぞれその時間を楽しむことができた。2
日目は初体験や貴重な体験が多い1日でした。

最終日は、みんなでTシャツにサインをしあったり
してお別れ会をしました。この3日間があっという間に
過ぎたように感じるくらい、本当に内容の濃い、熱
いキャンプだった。子どもを送り届け終え、被害の状
況を見てまわり、現地のスタッフさんの話を聞きなが
らショックを受け、いろいろ考えることがありました。
「必ず2年後、またここで集まる」とみんなで約束を
した。2年後に限らず、みんなでまた子どもを笑わせ
に来たいと本気で思いました。

今回は本当に貴重な体験ばかりでした。これからま
た震災関連のキャンプや活動があれば、また参加して
子どもたちと関わりたいと思う。

(田中 大雄)

1月第2例会報告

日時：1月26日(木)・18:45-20:45

場所：名古屋YMCA会議室

1. 報告事項・大島

(1)2月第1例会・詳細は1面参照

卓話・島崎正剛「ワイズについて」

懇親会・魚甚

(2)2012.-2013年クラブ役員案

2月第1例会で次期会長高田さんより発表予定

(3)12月合同例会の余剰金配分

多少増えました。9450円・会計に報告済み

(4)3月第1例会

卓話・「堀川1000人調査隊会員」服部宏氏

ゲスト・1000円/人

(5)第15回西日本区大会案内

案内書配布。クラブで一括して申し込む

2. コピー代申請・櫛田

「月報の作り方・文章の書き方」の資料作成のため、

12000円ほどのコピー代申請。了解得る

ワイズの一員として

私は1936年7月生まれ75歳の高齢者です。我がプラ
ザクラブの最年長だと思います。

勤めていた会社を70歳で退社するに当たり、入会時
に述べた通り、関係のあった山本茂樹さん(元プラザの
メンバー)の事務所へ退社の挨拶に訪問した際、山本さ
んとの会話の中でこれからは毎日が日曜日で、のんび
りと過ごそうと話すと、山本さん曰く「人間は何か目
的があってこそ生き甲斐を感じるもの、目的のない人
はボケますよ」と言いつつ、ワイズメンクラブの説明
を聞かされた。私も年齢は重ねているがお陰様で身体
はすこぶる健康である。誘われるまま、YMCAの会議室
で行われる例会に参加してみた。当時、会長は小澤さ
んだった。ゲストとして4回参加した後、野外例会で正
式に入会して、小澤会長の前で誓言した事を良く覚え
ている。その日が平成18年10月15日だった。

あれから丸5年が過ぎた。まだまだワイズメンズク
ラブの目的や義務に就いて全て理解はできていないが、
数々の活動に参加したり、仲間の皆さんと集う例会に
出席して、ワイズメンズクラブの意義を感じられるよ
うになって来た。

不幸にして昨年(2011年)3月11日の東日本大震災に依る、
津波被害及び福島原発放射能漏れ等々、未曾有の災
害が起きた。私個人での救援に何が出来る事はないか
と考えるが、奉仕活動するにも体力がない、でも出来る
事はある。YMCAを通じてのワイズ活動だ。微力であ
っても組織で動けば大きな力になる。気がつけば今はワ
イズメンズクラブに入ってよかったと思う。ただ私を
含め、我がクラブは高齢者が多い。でもある人に言わ
せると、50、60は鼻たれ小僧、70代はこれからだ、頑
張らなくては、でもこれからは若い人達の手も借りな
くは活気がなくなる。もっと広くワイズの輪を広げ
ていく事だ。若い人にもワイズを知ってもらい参加し
てもらえる様にPR活動も必要だと思う。

活動するには健康でなくてはならない。その一環と
して毎日ウォーキングを行っている。今は屋下がりの
暖かい時間に一日6千歩前後、距離にして5キロ前後を
約50分で歩き、今の時期でも汗が出る。同じコースを
歩くので四季折々景色が変わって楽しい。歩き始めは
抵抗があったが、今では日課となっている。又趣味と健
康を兼ねてゴルフにも月2回程度行きプレーするが、
年齢と共に飛距離も落ちてドライバーのナイスショッ
トでも180ヤードがやっとだ。スコアも100を切るの
が難しく大変になった。友人は「昔はもっと飛んだ」と
戻りもしない過去を語りながらプレーする。楽しいも

のだ。今年はプラザの皆さんとも春になり、暖かくなったらお誘いしたいと思います。

さて年も改まり 2012 年は良い年になってと願う。そしてプラザの皆様、今年もよろしく願いいたします。一年に二度程度の原稿提出でも自分には大変だと思うが、毎月ブリテンの出版をされている櫛田さんのご苦勞が良く判ります。感謝することばかり。依頼を受けた原稿を早く提出しようと思うが、なかなか筆が進まない、でも穴があかない様に頑張って書きます。今年もワイズメンズクラブの行事は目白押しです。微力ながら少しでも役に立てるように頑張りたい。そして、今年も若い情熱のある人を広く求め、メンバーを増やしたいものだ。我がプラザクラブの発展のため、夢と希望を持って活動したいと思います。

(高田 廣)

聖書の言葉

【初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。光は闇の中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。(ヨハネの福音書 1.1-5)】

【ヨハネ福音書の原文はギリシャ語で記され、「ことば」はロゴスの訳(やく)である。「ロゴス」とは古代ギリシャのヘレニズム期(紀元前 350-30 年)に成立したストア哲学の概念で『「自然」や「運命」とも表現され神とも同一視される。また人間は世界の一部であり「人間の自然本性」としてロゴスを持って生まれている。こうした「人間の自然」としてのロゴスはダイヤモンド(人間と神々の間に位置するもの)やヌース(理性・知性・精神・魂)とも呼ばれ、これに従った生き方が賢者の生き方である。』と説く。『キリスト教では、父なる神の言(ロゴス)である子(イエス)の本質をロゴスと考え、イエス自身がロゴスであり、それは父なる神の言だということである。そのロゴスを担う愛が精霊であり、この父・子・精霊の三位一体は、本来その本質は一つでありながら三つの相がある。子は父のロゴスでありながら、父もロゴスであり、精霊もロゴス、父を第一ロゴス、子を第二ロゴス、精霊を第三ロゴスと呼ぶ。』とアウグスティヌス(354-430 年・古代キリスト教の神学者)が初めて三位一体論を展開した。(Wikipedia)】

【同志社大学大学院ビジネス研究科教授浜矩子氏は、前記聖句の一節を引用して『言葉は命であり光ですが、悪用されれば、我々を騙す悪魔の道具ともなります。「ファンダメンタルズは良好です」といわれると、「あ、

そうか」と了解してしまう。この種の反応を誘発する言葉は要注意です。』(「誰が「地球経済」を殺すのか・浜矩子著・実業之日本社発行)】

(注)ファンダメンタルズ・国際経済を安定させるために必要となる条件で、各国の経済成長率、物価上昇率、国際収支などのマクロ経済指標(経済の基礎的条件)をいう。

Zoom・月遅れの2011年度月別時事川柳

先月の予定稿が紙面の都合で掲載できませんでした。「気が抜けたビール」のようで申しわけございません。

- 1月・タイガーマスク運動、全国に広がる
孤児院に 善意をつめた ランドセル
 - 2月・京都大学入試問題をネットで投稿する
カンニング 昔ペーパー 今ネット
 - 3月・東日本大震災で原発事故発生
想定外 ああ想定外 想定外・東電
 - 4月・焼肉酒家えびすのユッケを食べた客が食中毒
えびっさま 鯛と間違え ユッケ出し
 - 5月・立川市の警備会社で盗難事件発生
どうなんだ 警備会社が ” (テン) 忘れ
 - 6月・高速道路通行料土曜・休日 1000 円終了
遠出して 出会ったイワナ 懐かしい
 - 7月・なでしこジャパン女子 W 杯優勝
蹴球は 昔ラグビー 今サッカー
 - 8月・野田首相が誕生、自らどじょうと称す
小沢派や 色々入れて どぜう鍋
 - 9月・台風 12 号、紀伊半島各地に土砂災害もたらす
大雨を あつめてこわし 十津の川
 - 10月・オキュパイ・トウキョウ、日比谷に若者集まる
若者よ 占拠の前に 選挙せよ
 - 11月・オウム真理教事件の全公判終了
「ああ言えば 上祐」とかで オウム知り
 - 12月・TPP 賛成・反対議論活発化
テー・ピー・ピー 賛否の裏に 利権見え
- 解説：作り手が解説するのは、落語の「落ち」を先に話すようなものでルール違反ですが、「下手で判らん」という人のために敢えて書き添えます。5月・テンとは濁点のことで、無いと上五は「とうなん」だ、となります。8月・下五の「どぜう」は旧仮名遣いで「どぢやう」「どじやう」ですが、江戸時代の「どちよう鍋店」が四文字では縁起悪いと発音に近い「どぜう」にしたのが始まり。9月・五月雨をあつめてはやし最上川(松尾芭蕉)のパロディ、中七の「こわし」は「壊し」と「恐し」をかけている。10月・米国の「ウォール街を占拠せよ」を真似て東京各地でデモや抗議運動が行われた。オキュパイ(Occupy)=占拠 11月・1995 年オウム真理教の広報部長としてテレビのワイドショーに出演、数々の事件に対し詭弁を弄した弁舌に「ああ言えばこう言う」をもじって「ああ言えば上祐」と揶揄された。